



〔質疑〕放課後子ども教室の予算措置はどのようになっているか伺いたい。

〔答弁〕コーディネーター及び地域の方の安全管理員謝礼として134万4千円、消耗品費で88万円、通信運搬費で7万円を見込んでおり、合計2百29万4千円である。

特別会計

◎第30号議案・白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕予算編成にあたり、国民健康保険医療費の伸びをどのように見込んだのか伺いたい。

〔答弁〕平成17年度をピークに被保険者は減少傾向にある。一般被保険者の一人当たりの医療費は伸びているが、被保険者数の減少により保険給付費総額では減少するという状況になっている。

平成20年度当初予算編成にあたっての療養給付費について、伸び率は前年同様で積算している。

◎第33号議案・平成20年度白石市介護保険特別会計予算

〔質疑〕介護予防事業費の運動指導員委託は、介護予防センターで行う事業であるのか伺いたい。

〔答弁〕リスクの高い特定高齢者分は地域包括支援センターが担当となり、事業者に委託して実施する予定である。

また、一般高齢者分については、介護予防センターのマシンを使用した体力向上トレーニング教室、1クール10回を年6回行い、更には、教室の卒業生を対象とする運動指導を週2回設け、事業者に委託して実施する予算を計上している。

その他、脳活性化教室や国保の保健事業の実施により、同センターの有効活用を図る。

〔質疑〕高齢者安心見守り事業の内容について伺いたい。

〔答弁〕現在民生費長寿福祉費で行っている「ひとり暮らし老人等緊急通報システム」は本年3月31日をもって事業が廃止になることから、平成

20年度からは介護保険制度の地域支援事業に組み込み、国、県の補助を得ながら「高齢者安心見守り事業」として実施して行く。

なお、事業費の一部負担として利用者からも一月五百円を負担していただきたいと考えている。

◎第35号議案 平成20年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕経営改善についてどのように取り組むか伺いたい

〔答弁〕白石市の水道料金は、平成7年の料金改定以来12年間据え置いているが、この間に、仙南・仙塩広域水道からの受水費の改定が平成12年・18年度に行われた。

一方、市民の節水意識の向上、人口の減少、企業の撤退等による水需要の急速な落ち込みにより5千万程度の水道料金収入の減少があったのが一番の要因であり、今後も水需要の大きな増大は見込めない。

これらのことから一層の合理的な経営に取り組んでいる

ところであるが、限度があるため、集中改革プランに基づくさらなる経営合理化、剰余金の繰り入れ等を行ってまいりたいが、今後収入の確保のため、水道料金の適正化を視野に入れなければならないと見ている。

◎第36号議案 平成20年度白石市下水道事業会計予算

〔質疑〕下水道事業の今後の経営について伺いたい。

〔答弁〕昭和63年の一部供用開始以来、今日においては2百20億円の資産を有しているが、資本費平準化債、地方債合わせて120億円の未償還残債

があることから、今回策定している5年間の経営健全化計画に基づき、なお一層の経営の効率化と、自主財源である使用料の確保を課題として掲げている。

これらに対する取り組みとして、

○組織の合理化による経費の削減

○水洗化率の向上

○今後の排水量を見極めた使用料の適正化

○資本投下の抑制と、地方債の未償還残債の縮減

を計画的に行なうてまいりたい。

平成20年度 各会計予算

〔単位：千円：％〕

会 計 別	新年度予算額	対前年度 当初予算比
一 般 会 計	13,579,093	1.9
特 別 会 計	7,005,836	△ 36.6
特別会計内訳	国民健康保険	△ 10.4
	地方卸売市場事業	△ 5.6
	老人保健	△ 89.6
	介護保険	4.7
	後期高齢者医療	—

企業会計

水道事業会計	1,207,592	1.4
下水道事業会計	1,760,024	△ 17.9

※企業会計については収益的支出+資本的支出額